



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月4日

上場会社名 ハリマ化成株式会社

上場取引所 東大

コード番号 4410 URL <http://www.harima.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長谷川 吉弘

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 金城 照夫

TEL 06-6201-2461

四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	16,556	70.7	1,056	86.0	1,065	80.6	639	149.1
23年3月期第1四半期	9,699	32.6	567	115.9	589	97.6	256	103.7

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 1,100百万円 (562.6%) 23年3月期第1四半期 166百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	24.63	—
23年3月期第1四半期	9.89	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	68,125	30,154	42.2
23年3月期	63,983	29,313	43.7

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 28,782百万円 23年3月期 27,979百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	6.00	—	8.00	14.00
24年3月期	—				
24年3月期(予想)		7.00	—	7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	38,800	93.5	1,800	55.5	1,700	47.1	1,000	125.5	38.54
通期	80,000	92.8	3,800	30.7	3,600	30.2	2,100	57.0	80.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	26,080,396 株	23年3月期	26,080,396 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	130,858 株	23年3月期	130,808 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	25,949,575 株	23年3月期1Q	25,951,827 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】3ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、中国を中心とする新興国で景気が堅調に推移しているものの、米国、欧州における回復基調の鈍化により、全体としては緩やかな回復となりました。

わが国の経済は、本年3月に発生した東日本大震災の影響による生産活動の低下や消費が冷え込む中、サプライチェーンの立て直しが進み、生産が回復する兆しがみられましたが、電力供給不安や円高基調等により、依然として厳しい状況で推移してまいりました。

当第1四半期連結累計期間の連結業績につきましては、ローター社が連結子会社に加わり主に海外売上高が増加したことなどで、売上高は165億5千6百万円となり、前年同四半期に比べ68億5千7百万円(70.7%)の増収となりました。

利益面では、原価低減や経費削減等による収益改善を最重要課題として取り組むとともに、ローター社の業績が寄与しました。

その結果、営業利益は10億5千6百万円で、前年同四半期に比べ4億8千8百万円(86.0%)の増益となり、経常利益は10億6千5百万円で前年同四半期に比べ4億7千5百万円(80.6%)の増益、四半期純利益は6億3千9百万円となり、前年同四半期に比べ3億8千2百万円(149.1%)の増益となりました。

当社グループのセグメント別経営成績の概況は次の通りであります。

(樹脂化成品)

当部門では、本年より当部門に属するローター社が加わり、海外(市場)の売上高が大きく増加しました。さらに、ローター社では、印刷インキ用樹脂や粘接着剤用樹脂の原料価格高騰に対する製品への価格転嫁が進み、業績に寄与しました。

一方、国内は東日本大震災の影響で一部原料の調達に滞ったこともあり、販売数量が前年同期比で微減となりましたが、原料価格高騰に対する製品への価格転嫁を進めたことにより、売上高は前年同期比で増加しました。

塗料用樹脂は、概ね好調に推移しました。特に、外装用塗料、下塗り塗料が好調に推移しました。

印刷インキ用樹脂は、東日本大震災の影響で原料調達が滞ったことや、計画停電による生産への影響もあり、販売数量は低調でした。

合成ゴム用乳化剤は、合成ゴムメーカー各社の輸出需要の増加もあり、好調に推移しました。

その結果、当部門の売上高は113億7千5百万円で、前年同四半期に比べ66億9千7百万円(143.2%)の増収となりました。経常利益は10億6千8百万円と前年同四半期に比べ7億3千6百万円(221.2%)の増益となりました。

(製紙用薬品)

国内の製紙業界は、東日本大震災により東北地方に拠点を置く製紙工場が被災したことなどにより、紙・板紙の生産量が前年同期比で減少しました。

一方、海外では、中国の紙・板紙生産量は、依然として高い伸びが続いているものの、製紙メーカー間の競争が激化し、製紙用薬品も競争が激しくなっています。

このような環境下、当部門においては、震災の影響や原料価格の値上がりなど厳しい状況で推移しましたが、販売拡大や収益の改善に取り組みました。

その結果、当部門の売上高は30億1千1百万円で、前年同四半期に比べ1億1千1百万円(3.8%)の増収となりました。経常利益は1億6千万円と前年同四半期に比べ6千3百万円(64.6%)の増益となりました。

(電子材料)

国内自動車業界は、東日本大震災により、生産台数が対前年同期比60~70%の水準となり、大きな影響を受けました。

電子機器業界においては、地上デジタル放送への移行に伴う映像機器の販売が増加したことにより、他の電子機器の落ち込みをカバーし、前年同期並みで推移しました。

当部門では、レアメタルを始めとする原材料価格の高騰による影響を受けました。

海外においても、販売競争激化により、依然として厳しい状況が続きました。

その結果、売上高は10億9千4百万円で、前年同四半期に比べ4千3百万円(Δ3.8%)の減収となりました。経常利益は前年同四半期に比べ1億2千7百万円の減益となり、4千万円の赤字となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における総資産は681億2千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ41億4千2百万円の増加しました。自己資本比率は42.2%となりました。増減の主なものは、流動資産では利益が増加したため現金及び預金が6億8千6百万円増加し、売上高の増加に伴い受取手形及び売掛金が17億1千1百万円増加しております。流動負債では原材料仕入が増加したため支払手形及び買掛金が9億8千4百万円増加しており、連結子会社の運転資金のため短期借入金が13億4千万円増加しております。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今期の見通しにつきましては、世界経済は緩やかな景気回復基調にはあるものの、米国での財政赤字拡大や失業率の高止まり、欧州での信用不安などの懸念、中国での景気過熱抑制の動きなどがあり、先行き不透明な状況が続くと予想されます。

わが国経済においても、電力供給不足や円高進行による輸出産業への影響が懸念されます。

このような状況を踏まえ、ハリマ化成グループは、海外でのロジン関連事業を担うローター社の運営を軌道に乗せ、樹脂化成成品事業の発展に繋げるとともに、グループ各社の連携を深めグループ力を最大限に発揮することにより、パインケミカル分野での真の世界一をめざし、飛躍の年となるよう事業を推進いたします。

なお、当期(2011年4月1日から2012年3月31日)の通期の業績予想につきましては、2011年5月13日の決算発表時の公表数値を修正しておりません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2011年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2011年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,961,796	6,647,985
受取手形及び売掛金	17,113,605	18,824,746
商品及び製品	4,594,361	5,589,601
原材料及び貯蔵品	5,838,933	6,120,250
その他	2,858,196	3,110,915
貸倒引当金	△38,193	△126,675
流動資産合計	36,328,701	40,166,824
固定資産		
有形固定資産		
土地	10,608,726	10,647,646
その他(純額)	10,622,875	10,903,168
有形固定資産合計	21,231,601	21,550,814
無形固定資産		
その他	1,137,933	1,123,551
無形固定資産合計	1,137,933	1,123,551
投資その他の資産		
その他	5,298,379	5,297,673
貸倒引当金	△13,465	△13,465
投資その他の資産合計	5,284,913	5,284,208
固定資産合計	27,654,449	27,958,574
資産合計	63,983,150	68,125,398

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2011年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2011年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,787,057	9,771,316
短期借入金	17,254,593	18,595,237
1年内返済予定の長期借入金	615,334	608,958
未払法人税等	411,261	463,179
役員賞与引当金	66,910	91,520
その他	3,514,921	4,443,298
流動負債合計	30,650,078	33,973,511
固定負債		
長期借入金	555,006	528,051
長期預り保証金	1,128,779	1,108,569
退職給付引当金	772,570	766,425
役員退職慰労引当金	418,097	408,717
資産除去債務	44,837	44,987
その他	1,100,475	1,140,647
固定負債合計	4,019,766	3,997,398
負債合計	34,669,844	37,970,909
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,012,951	10,012,951
資本剰余金	9,744,379	9,744,379
利益剰余金	9,267,175	9,698,775
自己株式	△61,735	△61,770
株主資本合計	28,962,771	29,394,336
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	182,165	165,480
為替換算調整勘定	△1,165,864	△777,736
その他の包括利益累計額合計	△983,698	△612,256
少数株主持分	1,334,233	1,372,409
純資産合計	29,313,306	30,154,489
負債純資産合計	63,983,150	68,125,398

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2010年4月1日 至2010年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2011年4月1日 至2011年6月30日)
売上高	9,699,549	16,556,952
売上原価	7,382,810	13,041,234
売上総利益	2,316,738	3,515,717
販売費及び一般管理費	1,748,969	2,459,524
営業利益	567,768	1,056,192
営業外収益		
受取利息	10,816	8,168
受取配当金	27,602	28,447
為替差益	—	61,356
その他	76,925	70,355
営業外収益合計	115,345	168,327
営業外費用		
支払利息	46,886	112,225
為替差損	27,147	—
その他	19,289	47,161
営業外費用合計	93,323	159,386
経常利益	589,791	1,065,134
特別利益		
投資有価証券売却益	16,275	—
特別利益合計	16,275	—
特別損失		
固定資産除却損	11,904	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	29,722	—
その他	6,759	—
特別損失合計	48,385	—
税金等調整前四半期純利益	557,681	1,065,134
法人税、住民税及び事業税	63,887	301,221
法人税等調整額	206,034	46,947
法人税等合計	269,921	348,169
少数株主損益調整前四半期純利益	287,759	716,965
少数株主利益	31,196	77,768
四半期純利益	256,562	639,196

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2010年4月1日 至 2010年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2011年4月1日 至 2011年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	287,759	716,965
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△162,278	△16,695
繰延ヘッジ損益	△277	—
為替換算調整勘定	40,859	400,141
持分法適用会社に対する持分相当額	14	10
その他の包括利益合計	△121,682	383,456
四半期包括利益	166,077	1,100,421
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	125,874	1,010,638
少数株主に係る四半期包括利益	40,202	89,783

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

I 前第1四半期連結累計期間(自 2010年4月1日 至 2010年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (注1) (千円)	合計 (千円)	調整額 (注2) (千円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3) (千円)
	樹脂化成品 (千円)	製紙用薬品 (千円)	電子材料 (千円)	計 (千円)				
売上高								
外部顧客に対する売上高	4,677,766	2,900,405	1,137,640	8,715,812	955,471	9,671,283	28,265	9,699,549
セグメント間の内部売上高又は振替高	53,608	4,210	—	57,818	21,930	79,749	△79,749	—
計	4,731,374	2,904,615	1,137,640	8,773,631	977,401	9,751,032	△51,483	9,699,549
セグメント利益	332,836	97,486	87,238	517,560	43,449	561,010	28,781	589,791

II 当第1四半期連結累計期間(自 2011年4月1日 至 2011年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (注1) (千円)	合計 (千円)	調整額 (注2) (千円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3) (千円)
	樹脂化成品 (千円)	製紙用薬品 (千円)	電子材料 (千円)	計 (千円)				
売上高								
外部顧客に対する売上高	11,375,276	3,011,953	1,094,080	15,481,310	1,111,465	16,592,775	△35,823	16,556,952
セグメント間の内部売上高又は振替高	50,407	144,528	—	194,936	17,234	212,170	△212,170	—
計	11,425,684	3,156,482	1,094,080	15,676,247	1,128,699	16,804,946	△247,993	16,556,952
セグメント利益又は損失(△)	1,068,928	160,492	△40,259	1,189,161	△64,984	1,124,177	△59,042	1,065,134

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、主に「不動産管理事業」等を含んでおります。

(注2) セグメント利益の調整額は、棚卸資産の調整額等が含まれております。

(注3) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。